

## 分詞とは

## 1 文に相当するが文ではない

「彼は部屋に入ってきた」と「彼はほほ笑んでいた」という意味の、2つの英文を作ってみよう。

He came into the room.

He was smiling.

これを合わせて1つの文にしたい場合、接続詞の when や as を使って書くことができる。

When[As] he came into the room, he was smiling.

(部屋に入ってきた時、彼はほほ笑んでいた。)

しかし、もっと簡潔に表現することもできる。smiling という分詞1つですませるのだ。

He came into the room **smiling**.

(彼は、ほほ笑みながら部屋に入ってきた。)



このように、分詞を使うと、1つの文と同じ内容を、もっと短く言い表すことができる。

なお、上の例文では、「彼が部屋に入ってきた」+「(その時同時に彼は)ほほ笑んでいた」と、主語である「彼」の行動を2つ説明している。このように、主語そのものの行動や状況を説明するときには、次のようにすることはない。

× He came into the room with smiling.

with を使うのは、主語そのものとは別の名詞が「主語と一緒にいて・あって」「主語とは違うことをしている」場合に限られる(詳しくは、p.241を参照)。

He came into the room **with his dog following** him.

(彼が部屋に入ってきて、彼の犬がその後続いた。)(←その場に犬と一緒にいて、彼の後からついてきている様子を表している)



## 2 現在分詞と過去分詞

分詞には、現在分詞と過去分詞の2つの種類がある。その基本的な違いを考えてみよう。

まず、「木々が私たちの家を取り囲んでいる」という内容の英文を作ってみる。「まわりをぐるっと取り囲む」は surround という動詞を使って表現できる。能動態で表現する場合、主語に「まわりをぐるっと囲む側」を置き、surround の目的語に「囲まれる側」を置いて表現する。

The trees **surround** our house.

(木々が私たちの家を取り囲んでいる。)



このように1つの文で表現する代わりに、「木」を話題の中心にして、「木」←「私たちの家を取り囲んでいる」というように、後ろから「木」を説明する語句を加える形にもできる。この場合、現在分詞を使って表現する。

# 1 | 名詞を修飾する分詞 (限定用法)

## 1 現在分詞と過去分詞

### TARGET 155

- (1) Who is the girl **painting** a picture over there?  
 (2) The picture **painted** by a little girl won the contest.

- (1) あそこで絵を描いている少女はだれですか。  
 (2) 小さな少女によって描かれた絵が、コンテストで優勝した。

### 分詞の限定用法

#### 名詞の意味を限定する

(1)では painting a picture over there が直前の名詞 the girl を、(2)では painted by a little girl が直前の名詞 The picture を修飾している。このように、**分詞は名詞を修飾し、その意味を限定することができる**。これを分詞の**限定用法**と呼ぶ。

### 現在分詞と過去分詞

#### 現在分詞は能動の意味

#### 過去分詞は受動の意味

分詞には**現在分詞**と**過去分詞**がある。現在分詞は(1)で使われている **painting** のような形 (→ p.612)、過去分詞は(2)で使われている **painted** のような形である (→ p.613)。ここで、(1)と(2)の文を使って、現在分詞と過去分詞の違いを見ていこう。

現在分詞の場合は、修飾される名詞と分詞は、「あそこで絵を描いている少女」のような**〈する側〉と〈する行為〉を表す能動の関係**となり、過去分詞の場合は「少女によって描かれた絵」のような**〈される側〉と〈される行為〉を表す受動の関係**となる。したがって、次のような文を作ることができる。

**The girl is painting** a picture over there.  
**The picture was painted** by a little girl.

この2つの文からわかるように、**分詞に修飾される名詞は、その分詞の意味上の主語**になっている。

#### 参考

分詞には動詞としての性質もあるので、painting a picture over there のように、目的語を続けることや、副詞(句)で修飾することができる。

## 2 分詞が名詞の前に置かれる場合

### TARGET 156

- (1) Someone is in that **burning** house!  
 (2) The police found the **stolen** money in the car.

- (1) だれかがあの燃えている家の中にいるぞ!  
 (2) 警察は、その車の中で盗まれたお金を見つけた。

### 名詞の前に分詞を置く

#### 分詞だけの場合

(1)の burning は house を、(2)の stolen は money をそれぞれ修飾している。

このように、**名詞を修飾する1語の分詞は、修飾する名詞の直前に置くことができる**。この場合も、修飾する名詞は分詞の意味上の主語となり、現在分詞は能動の意味を、過去分詞は受動の意味を表す。

(1)からは That house *is burning*. という能動態の文が、(2)からは The money *was stolen*. という受動態の文ができる。

## 3 形容詞となった分詞 (分詞形容詞)

### TARGET 157

- (1) It was an **exciting** game.  
 (2) I saw a lot of **excited** supporters.

- (1) それはわくわくする試合だった。  
 (2) 私はたくさんの興奮したサポーターを見かけた。

### 形容詞として使われる分詞

分詞の中には、動詞としての性質が薄れ、形容詞として使われているものが多い。 (1)の exciting や (2)の excited もその例で、-ing 形と -ed 形の使い分けには注意する必要がある (→ p.531)。

#### 動詞の意味を考える

exciting は excite の現在分詞形、excited は excite の過去分詞形で、excite は「(人)を興奮させる」という意味の他動詞である。したがって、exciting は「(人)を興奮させる」という**能動の意味**をもち、excited は「興奮させられた(人) (→興奮した(人))」という**受動の意味**を

# 1 | 分詞構文の応用

## 1 分詞構文のさまざまな形

### ① 時の前後関係を表す having + 過去分詞 (完了形の分詞)

TARGET 170

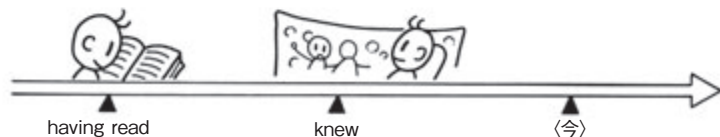
**Having read** the novel, I already **knew** the ending of the movie.

原作を読んでいたのに、私はすでにその映画の結末を知っていた。

#### 完了形の分詞

述語動詞の時よりも以前のこと

文の述語動詞の表す時よりも以前のことを分詞構文で表現する場合は、分詞を **(having + 過去分詞)** の形にする。この文では、分詞が **having read** になっていることから、「知っていた」という **knew** が表す時よりも以前に「読んだ」ことがわかる。



接続詞を使って表す

この文を接続詞を使って表現すれば、次のようになる。

▶ **Because I had read** the novel, I already **knew** the ending of the movie.  
過去完了形 過去形

### ② 分詞の前に接続詞を置いて意味を明確にする

TARGET 171

**While skiing** in Hokkaido, he twisted his ankle.

北海道でスキーをしている時に、彼は足首をねんざした。

分詞の前に接続詞を置く

表す意味を明確にする

分詞構文の意味を明確にするために、分詞の前に接続詞を置くことがある。この文では、**while** を置くことで「時」を表すことを明確にしている。分詞の前に置かれる接続詞は **when** や **while** が多い。

この文の **While skiing** のような場合は〈主語 + be 動詞〉の省略と考えることができる場合もある (→ p.447)。

▶ While *he was* skiing in Hokkaido, he twisted his ankle.

参考

after や before に -ing が続く場合は、前置詞の後に動名詞が続いた形と考えればよい。

*After finishing* his homework, he played the video game.  
 (宿題を終えた後、彼はテレビゲームをした。)

Plus 41

### 「譲歩」を表す分詞構文

分詞構文が「譲歩」を表すことがある。その場合は分詞の前に **although** や **though** のような「譲歩」の接続詞がついていたり、主節に **still** のような「逆接」を表す副詞があることが多い。

**Although impressing** the interviewer, he couldn't get the job.

(面接担当者にはよい印象を与えたが、彼はその仕事を得ることができなかった。)

**Accepting** that he may be right, I **still** don't like his idea.

(彼が正しいかもしれないということは認めるが、それでも私は彼の考えが気に入らない。)

Check 76

日本語の意味に合うように、( ) に適語を入れなさい。

- お金を全部使ってしまったので、彼女は渋谷から家まで歩いた。  
 ( ) ( ) all her money, she walked home from Shibuya.
- サラダと一緒に食べると、このパスタはおいしい。  
 This pasta is delicious ( ) ( ) with a salad.

## 2 独立分詞構文

分詞構文では、分詞の意味上の主語は文の主語と一致しているのが原則である。しかし、実際の英文では、分詞の意味上の主語が文の主語と一致していないこともある。そのような分詞構文を、**独立分詞構文**と呼ぶ。

### ① 意味上の主語を示す場合

TARGET 172

**It being** Monday, the barber shop was closed.

月曜日だったので、その理髪店は閉まっていた。

分詞の前に主語

分詞の意味上の主語が文の主語と異なる場合は、**分詞の直前に意味上の主語を置く**。

## 機能別さくいん

「あいづちを打つ」「相手の調子を尋ねる」など、実際に英語を使う時の「機能」の面から、本書の TARGET 例文の表現を分類したさくいんです。そのまま覚えて実際のコミュニケーションに応用しましょう。

## 1 人との関係を円滑にする

## あいづちを打つ

## ▶ 応答疑問文

ページ

1	<input type="checkbox"/> “Ichiro hit a home run yesterday.” “Oh, <b>did he?</b> ”	<input type="checkbox"/> 「イチローが昨日ホームランを打ったんだ。」 「へえ、 そうなの。」	372
2	<input type="checkbox"/> “I’m not interested in video games.” “ <b>Aren’t you?</b> ”	<input type="checkbox"/> 「テレビゲームには興味がないんだ。」 「そうなんだ。」	372

## ▶ too / either

3	<input type="checkbox"/> “I’m from Arizona.” “Really? I am, <b>too.</b> ”	<input type="checkbox"/> 「私はアリゾナの出身です。」 「本当? 私もそうですよ。」	559
4	<input type="checkbox"/> “I can’t eat raw fish.” “I can’t, <b>either.</b> ”	<input type="checkbox"/> 「私は生の魚を食べられません。」 「私もだめですよ。」	559

## ▶ so / neither (倒置)

5	<input type="checkbox"/> “I was poor at math in school.” “ <b>So was I.</b> ”	<input type="checkbox"/> 「学校じゃ、数学が苦手だったんですよ。」 「私もそうでした。」	444
6	<input type="checkbox"/> “I don’t feel like eating any more.” “ <b>Neither[Nor] do I.</b> ”	<input type="checkbox"/> 「もうこれ以上食べたくありません。」 「ぼくもだよ。」	559

## ▶ so + SV

7	<input type="checkbox"/> It’s getting dark in this room. “ <b>So it is.</b> ”	<input type="checkbox"/> 「部屋の中が暗くなってきましたね。」 「そうですね。」	561
---	----------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------	-----

## 相手の調子を尋ねる

## ▶ how / what

8	<input type="checkbox"/> “ <b>How</b> do you feel?” “I feel fine.”	<input type="checkbox"/> 「気分はどうですか。」 「元気ですよ。」	361
9	<input type="checkbox"/> <b>How</b> are you? / <b>How</b> are you doing? <b>How’s</b> it going? / <b>How</b> are things? Pretty good. / Great. Not bad. / So-so.	<input type="checkbox"/> 調子はどう? とてもいいよ。 まあまあだね。	362
10	<input type="checkbox"/> <b>What’s</b> up? / <b>What’s</b> going on? / <b>What’s</b> new? Not much. / Nothing, really.	<input type="checkbox"/> 何か変わったことは? 相変わらずだね。	362

## 同意を求める／確認する

## ▶ 付加疑問

11	<input type="checkbox"/> “It’s very hot today, <b>isn’t it?</b> ” “Yes, it is.”	<input type="checkbox"/> 「今日はとっても暑いよね。」 「うん、暑いね。」	370
12	<input type="checkbox"/> “She doesn’t like coffee, <b>does she?</b> ” “No, she doesn’t.”	<input type="checkbox"/> 「彼女はコーヒーが好きじゃないよね。」 「うん、好きじゃないね。」	370
13	<input type="checkbox"/> “Billy hasn’t arrived yet, <b>has he?</b> ” “No, he hasn’t.”	<input type="checkbox"/> 「ビリーはまだ来てないんだろ?’ 「ええ、来てないわ。」	370
14	<input type="checkbox"/> “There’s some juice in the fridge, <b>isn’t there?</b> ” “Yes, there is.”	<input type="checkbox"/> 「冷蔵庫にはまだジュースがあるよね?’ 「うん、あるよ。」	371
15	<input type="checkbox"/> “She never listens, <b>does she?</b> ” “No, she never does.”	<input type="checkbox"/> 「彼女ってまったく人の話を聞かないよね。」 「ああ、まったくだ。」	371

## ▶ 否定疑問文

16	<input type="checkbox"/> “ <b>Can’t you</b> swim?” “No, I can’t.”	<input type="checkbox"/> 「泳げないの?’ 「うん、泳げないんだ。」	364
17	<input type="checkbox"/> “ <b>Isn’t it</b> a lovely day?” “Yes, it is.”	<input type="checkbox"/> 「すてきな日じゃない?’ 「うん、すてきな日だね。」	364

## 呼びかける

## ▶ 無冠詞

18	<input type="checkbox"/> <b>Professor!</b>	<input type="checkbox"/> 教授!	489
----	--------------------------------------------	------------------------------	-----

## 2 気持ちを伝える

## 判断や感情を伝える

## ▶ that 節

19	<input type="checkbox"/> <i>It is natural that he <b>should</b> like you.</i>	<input type="checkbox"/> 彼があなたを好きなのは当然だ。	136
20	<input type="checkbox"/> <i>It is a pity that you <b>should</b> have to leave this country.</i>	<input type="checkbox"/> あなたがこの国を離れなければならないなんて残念だ。	136
21	<input type="checkbox"/> <i>It is natural that she <b>gets</b> angry.</i>	<input type="checkbox"/> 彼女が怒るのも当然だ。	136
22	<input type="checkbox"/> <i>It is strange that he <b>said</b> so.</i>	<input type="checkbox"/> 彼がそう言ったとは不思議だ。	136

## ▶ 不定詞

23	<input type="checkbox"/> I’m very <b>happy to meet</b> you.	<input type="checkbox"/> あなたにお会いできてとてもうれしいです。	178
24	<input type="checkbox"/> Jake was <b>surprised to hear</b> the news.	<input type="checkbox"/> ジェイクはその知らせを聞いて驚いた。	178

## ▶ 受動態

25	<input type="checkbox"/> She <b>was shocked at</b> the news.	<input type="checkbox"/> 彼女はその知らせにショックを受けた。	159
----	--------------------------------------------------------------	---------------------------------------------	-----

## 心理状態を述べる

## ▶ 状態動詞

26	<input type="checkbox"/> I <b>love</b> chocolate ice cream.	<input type="checkbox"/> 私はチョコレートアイスクリームが大好きです。	61
----	-------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------	----